



森の比気

豊浦中学校学校だより

令和7年1月8日号

新しい年、令和7年を迎えました。今年もよろしくお願いいたします。

今年のお正月は、とても穏やかに迎えることができました。昨年のお正月は能登地方を襲った地震により、日本海沿岸に津波警報が発令され、豊浦地域でも避難所に身を寄せることになった人たちもいたと思います。幸いにも私たちの身のまわりでは大きな被害はありませんでしたが、石川県能登地方では、1月の地震に加え9月の豪雨災害もあり、未だに不便な生活を強いられている方々が大勢いらっしゃる状況です。また、昨年は、山形県内でも7月に酒田市・遊佐町・鮭川村・戸沢村で豪雨災害が発生するなど、全国各地で自然災害による被害が多い年でした。今後も、命を守るための防災・減災の取組の大切さについて、事あるごとに確認していきたいと思えます。令和7年は、そうした災害の少ない平穏な年になることを願うばかりです。

3学期の始業にあたり

1月7日（火）から3学期が始まりました。始業式にあたり校長より以下のような話をしました。

一年の計は元旦にありと言います。それと同じように3学期の計は今日です。

この3学期は、とても重要な学期です。その理由は2つあります。1つ目が、一番短い学期でありながら、今年度1年間の締め括りと次のステージに進むための力をつける学期であること。2つ目が、今年度1年間の中で最後にして最も重要な行事である卒業式があることです。卒業式の時には、3年生はもちろんですが、1・2年生もこれまでの中学校での授業やさまざまな活動で得た成果を生かして1年間で最高の自分を発揮できるようになってほしいと思えます。

今年度の生徒会スローガンは「一心」です。

「一心」には2つの意味があります。

①多くの人々が心を一つにすること ②心を一つのことに集中すること

スローガンのサブテーマに「53人の心をひとつに」とあるので、生徒会としては、①多くの人々の心を一つにすることをめざしているのだと思えます。2学期に行った運動会や文化の集いなどの行事を通して、全校生徒が一丸となる姿が見られ、大きな成果を得ることができました。学校教育目標の「協働」の達成にあたるものです。大事な3学期に一人ひとりが大きな成長を遂げるには、しっかりとした意志や気持ち、覚悟が必要です。めざす自分の姿をしっかり持って「一心」に自分の成長に向き合ってください（これは「一心」の②の意味）。

2学期終業式でお願いした「各学年の心構え」（令和6年12月24日発行学校だよりに記載）を自覚して、皆さん一人ひとりが次のステージに向かうために大きく成長することを願っています。

出発点は自分。「自立」した自分をめざし、目標を持って一生懸命挑戦する、そんな皆さんの姿が見られる3学期になることを期待しています。

新年試筆 ～ 決意を書に込めて ～

1月7日（火）始業式後に新年試筆を行いました。

1年生「不言実行」、2年生「新たな目標」、3年生「旅立ちの春」という言葉をお手本にして筆を執りました。どの生徒も姿勢を伸ばして真剣に書に向かう姿が見られました。

お手本の言葉は、学年ごとに新年の決意として大切にしてほしい言葉です。また、日本人は節目を大事にする国民性があります。新たな目標を立てて進もうとするこの節目に、生徒の皆さんには、抱いた初志を大切に令和7年を進んでほしいものです。

